

# 特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」の発生について

## 1. クビアカツヤカミキリとは

クビアカツヤカミキリは、サクラ、ウメ、モモ、ハナモモ等(バラ科)の樹木に寄生し、幼虫が木の中を食い荒らし、被害が進行すると木が枯れてしまうため、観光や農業に深刻な影響を及ぼします。



クビアカツヤカミキリの成虫

### 特徴

- 体長 2〜4cm(触角を除く)
- クビ(胸部)が赤く、体はツヤのある黒色

・発生時期は6〜8月

※6月下旬〜7月中旬が発生ピーク

・触角を立てて歩く

・ジャコウのような臭いを放つ

・昼間に活動し、晴れた気温の高い日はよく飛んで移動する

## 2. 被害の確認方法

①木の種類 サクラ、ウメ、モモ、ハナモモ等(バラ科)の樹木に寄生する。

②フラス(フンと木くずの混ざったもの)の発生  
クビアカツヤカミキリの発見の**重要な情報**です。



サクラの木に発生したフラス

## 3. 防除用品の配付

被害木が確認できた場合には、**防除用品**を配付しますので、環境課にご相談ください。

(配付している防除用品:防風ネット、防虫薬剤)

## 4. クビアカツヤカミキリを発見したら

クビアカツヤカミキリを発見したら、速やかに環境課(Tel0274-40-2264)に連絡ください。

また、成虫等の移動は禁止されていますので、捕殺してください。